

令和5年度いわての地域国際化人材育成事業 海外派遣研修FAQ

令和5年5月24日

岩手県ふるさと振興部国際室
岩手県教育委員会事務局学校教育室

【過去参加者の応募】

Q1: 過去の県主催の海外派遣研修に参加した生徒が、令和5年度海外派遣研修に応募することは可能か。

A1: 海外派遣経験者の裾野拡大のため、過去に参加した生徒は応募できません。

【コロナワクチン接種について】

Q2: コロナワクチンを未接種の生徒が、令和5年度海外派遣研修に応募することは可能か。

A2: 可能です。ただし、今後の状況変化によっては、ワクチン未接種であることが出入国手続き等に影響する可能性があることを御理解ください。

なお、令和5年5月24日現在、派遣予定先であるアメリカ及び中国への出入国に際し、コロナワクチンの接種条件はありません。

【募集区分を設ける理由】

Q3: 北米コースでは、なぜ募集を3つの区分に分けるのか。

A3: 北米コースでは、次の3つの区分で募集することとしています。

募集区分	募集人数
① 専門学科（理数科・体育科を除く）・総合学科在籍生徒	2名
② 東日本大震災津波被災生徒	2名
③ 上記以外の生徒	6名

「① 専門学科（理数科・体育科を除く）・総合学科在籍生徒」については、教育活動として地域と密着した取組を展開している学校が多いほか、卒業後に就職等で地域に残る生徒が比較的多いことなどから、地域住民と共に国際化推進の原動力となることを期待するものです。

また、「② 東日本大震災津波被災生徒」については、いわての学び希望基金を主な財源としているほか、被災地域において国際化を推進する人材育成を目指すものです。

理数科や体育科在籍生徒については、普通科在籍生徒と同様に進路先が多様であるため、普通科在籍生徒と同じ区分③で募集します。

なお、中国雲南省コースにおいては、募集区分を設けていません。

【専門学科・総合学科在籍生徒】

Q4: 北米コースにおける「専門学科（理数科・体育科を除く）・総合学科在籍生徒」はどのような生徒か。

A4: 「専門学科（理数科・体育科を除く）・総合学科在籍生徒」とは、理数科・体育科を除く、農業、工業、商業、水産、家庭、総合の各学科に在籍する生徒を指します。専門高校又は総合学科高校のほか、普通学科・専門学科併設校の生徒の応募も可能ですが、普通科及び理数科、体育科在籍の生徒は、当該区分には該当しません。

【東日本大震災津波により被災した生徒】

Q5： 北米コースにおける「東日本大震災津波により被災した児童生徒」とはどのような生徒か。どのような書類を提出する必要があるか。

A5： 「令和5年度いわての地域国際化人材育成事業 海外派遣研修に係る『東日本大震災津波により被災した児童生徒』について」（別添1）に掲げる要件を満たしている生徒を指します。

各学校において参加希望者の状況を確認していただき、学校長が要件を満たしていると認める場合は、当該区分に該当します。様式5「確認書」に必要事項を記入し、様式1及び2と併せて提出ください。

【パスポート・国籍】

Q6： 日本国籍を持つ生徒（日本国パスポートの所有者）のみに限定するものなのか。

A6： 生徒の国籍は限定しませんが、日本国以外の国籍によっては、米国又は中国への入国に際し、ビザの取得が必要な場合があります。ビザが発給されない場合は、海外派遣研修に参加できませんので、応募の際は、県教委の事業担当者と相談の上、確実にビザが取得できる生徒であることをあらかじめ御確認願います。

※ 令和5年5月24日現在、中国への入国は日本国籍を持つ者についても短期滞在のビザ免除措置が停止されているため、ビザ取得が必要です。それに伴う留意事項については、別紙2で御確認ください。

【食物アレルギー】

Q7： 食物アレルギーのある生徒も参加可能か。

A7： 参加可能です。

ただし、海外派遣研修では個々の食事に対しての対応が困難であるため、自らの安全を守るよう対応していただきます。

【過去の（県事業以外の）海外派遣参加経験の有無】

Q8： 以前に市町村や各種団体等が主催する海外派遣事業に参加した経験がある生徒の応募は可能か。また、可能な場合であっても選考にあたり不利になったりするのか。

A8： 応募可能です。また、選考において、海外派遣経験の有無は考慮しません。

【語学資格等】

Q9： 海外派遣研修について、英語又は中国語の外部検定試験（英語検定やGTEC等）のスコアが選考の際に考慮されるとのことだが、どのように考慮されるのか。

A9： 提出された証明書（写し）に基づき、スコア等に応じて加点します。

なお、外部検定試験はあくまでも加点材料であり、応募における必須条件ではありません。選考に当たっては、地域バランス等を踏まえ、総合的に判断します。

【自己負担経費】

Q10： 参加者負担経費の中に「パスポート申請手数料」とあるが、パスポートやESTA（米国入国時に必要な電子渡航認証システム登録）を既に取得している場合はその分の経費はかからないと考えていいか。

A10： 経費はかかりません。

なお、ESTA は許可された日から最長 2 年間有効(又は旅券の有効満了日のいずれか短い方)であり、期間内であれば何度でも利用することができます。

【海外派遣研修前後に設定されているプログラムについて】

Q11： 海外派遣研修に応募する生徒は部活動にも熱心に取り組んでおり、土日・休日も毎週部活動の練習等があり多忙であるため、当該生徒が参加者となった場合、事前事後研修等は(部活動を優先し)欠席してよいか。

A11： やむを得ないと認められる場合を除き、事前事後研修等には必ず出席してください。

事前事後研修等を含めて一つの事業であること、特に事前研修は重要連絡事項の伝達のほか、派遣研修で行うプログラムの練習や準備等を行うことから、欠席した場合、他の参加者にも支障を来すこととなりますので、部活動よりも優先度を高めていただきますよう御理解、御配慮願います。

【海外派遣生徒の役割(帰国後)】

Q12： 海外派遣研修参加者の帰国後の役割は何か。

A12： 次のような活動を行っていただきます。

- ① 各高校において報告会等を行うこと。
- ② 地域における国際交流イベント等に可能な限り参加するなど、海外派遣研修で学んだことを積極的に校内外で普及する活動を行うこと。

【国際情勢の影響】

Q13： 昨今の国際情勢(新型コロナウイルスなど感染症の感染拡大や海外でのテロ行為、天変地異等)により、海外派遣研修が中止になることもあるのか。

A13： 生徒の安全を最優先に考えていることから、感染症の拡大や、国際情勢等によっては、派遣先や派遣時期の変更、又は派遣そのものを中止する場合があります。

【海外研修参加前の新型コロナウイルスへの感染】

Q14： 海外派遣直前に、派遣予定者が新型コロナウイルス感染症の陽性となった場合、参加できるか。

A14： 新型コロナウイルス感染症に限らず、渡航できる健康状態でない時は、研修参加を辞退してもらうことになります。

【海外派遣研修中の新型コロナウイルス感染症について】

Q15： 海外派遣研修中に、派遣団の中で新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した場合は、どのように対応するか。

A15： コロナ陽性者を含む体調不良者が出た場合は、現地の医療機関の指示を仰ぎながら、他の研修者の安全と体調不良者の早い回復を最優先に行動します。